

11月講演&勉強会

●新学習指導要領の「不登校児支援の深化」●

～学校復帰ばかりではない～

- ◆主催：一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄県支部
- ◆日時：11月10日（土）14～16時（13：30受付）
- ◆対象：どなたでも参加可能（事前予約不要）
- ◆参加費：500円
- ◆会場：八洲学園大学国際高等学校（0980-51-7711 本部町備瀬 1249）
- ◆講師：鈴木 啓之（八洲学園大学准教授 博士(医学)）



【職歴】岡崎国立共同研究機構 生理学研究所、ドイツ国ハンブルグ大学 生理学研究所、茨城大学、茨城県教育庁を経て現職。

国の不登校児支援方針は「学校復帰」を旨としてきましたが、今後10年の学校教育を定める新学習指導要領（平成32～34年度より適用）では、従来の方針を転換して多様な学びのあり方を認めていく方向へ変わりました。

とりわけ高等学校においては、通信制高等学校の不登校支援の役割を認めるとともに、不登校生徒に関する記述を大幅に増やしました。他方、高等学校での通級指導を認めるなど、一斉教育に乗らない多様な生徒の支援を打ち出しています。

そこで、新旧の学習指導要領を比較しながら、「**不登校児／学校不適応児支援の方向**」をみなさんと概観してゆきます。

